

層雲峡 姫岩リトルプリンセスMルート

L 栗山、田中

2012年2月11日、かねてから行こうと言っていた、姫岩へ田中さんで行ってきた。
10日金曜夜に層雲峡まで行き、軽く飲んで1時就寝。

姫岩は1995年にO氏により1ピッチ目人工で初登されたルートがリトルプリンセスだが、2004年に旭川のT氏により1ピッチ目直上ラインにボルトが打たれ、I氏によってフリーで初登(Mルート初登)された。ただし、このMルートラインは95年のラインとは別で凹角を直上するラインである。つまり1ピッチ目はリトルプリンセスとは別のルートである。

今回はそのMルートを攀るべくやってきたのである。

5時起床。4時間睡眠で眠い。7:30 姫岩基部に到着。見上げると抜け口に申し訳程度の氷が下がっている。去年から攀っているカムイ岩のMIXルートと比べるとそれ程被っていないように見える。しかし、今日はやたらと冷え込んでいて、指先がしびれる。

8:00 登攀開始。

1P:45m M9 ヌンチャク25本持って取り付く。とにかく慎重に攀る。情報通りやたらとボルトの間隔が近いが、効きが甘いらしいので、全部掛けて行く。途中、アンダーフッキングも出てくるが、比較的スタンスが良く、きわどい所を攀っては休みの連続で行く。やたら時間が掛かったと思うが、7割程までは何とかノーテンで攀れた。しかし、この冷え込み、下のビレーヤーが凍えているだろう。

何だか残置のスリングが有ったが、ここからが難しい。この時点で既にヌンチャク20本近く使う。手はもうパンプしまくり。相変わらずスタンスは良いので、大レストできるのだが、そんな事していたら、ビレーヤーが凍死しそうなので、行く。すぐにテンション掛ける。何度かテンション掛けながら何とか終了点へ。ボルト25本。前半7割はM7~M8位かな？

2P~4P:Ⅲ級-(45m)、Ⅲ級+(35m)、コンテ(25m)

5P:25m M?+V ここは初登時ツララが下まで届いていた所だが、今日は氷柱が10m程上でスパッと崩壊していた。右岸のボルトラインをMルートとして取り付く(ここもT氏によりボルトが打たれたが、横には古いRCCボルトも有る)。砂岩に小さくブツブツと飛び出たホールドに引っ掛けて攀る。チョー細かい!あまりの恐怖ですぐテンション。その後も恐怖のブツブツホールドがずっと続く。ボルト10本程でやっと氷へ乗り移る。この時点でもう手が…。すぐアックステンション。その後、アックステンションかけまくり氷の中間程まで行くが、もう全く何も出来ない位パンプ。ヌンチャクも尽きて(10本は1P終了点へ残置して来たので15本しか持っていなかった)やむなくピッチを切る。

6P:20m V- 弱音を吐いてT中さんに行ってもらおう。疲れきった体を引きずり、何とかトップアウト。15:30

4回の懸垂で取り付きへ。17:00

駐車場に着いた時は、すっかり暗くなっていた。

翌日、元気だったらバニシングムーンを攀りに行こうと思っていたが、そんな事不可能でした。

持てる力を全て使い果たし挑戦したが、我々の力では到底ノーテンで登れるルートではなかった。

しかし、何としてでもトップアウトしたいと言う目的は、一応果たせた。

手に凍傷を負ってビレーしてくれた田中さんには、何と感謝してよいか解らないほど感謝しています。

(文責:栗山)